

本大会は全国大会の参加規定（「校内放送研究」No.178）に準じて実施されます。全国大会の規定パンフレットは http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html からダウンロードできます。

第66回 NHK杯全国高校放送コンテスト新潟県予選 兼 第60回 新潟県高等学校放送コンテスト 【 実 施 要 項 】

確定版

主 催 新潟県高等学校教育研究会視聴覚部会・NHK新潟放送局

共 催 新潟県高等学校文化連盟

主 管 新潟県高等学校文化連盟放送専門部

当番校 新潟県立長岡大手高等学校・新潟県立長岡商業高等学校

1 実施部門

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) アナウンス | (2) 朗読 |
| (3) ラジオドキュメント | (4) テレビドキュメント |
| (5) 創作ラジオドラマ | (6) 創作テレビドラマ |

2 実施期日および会場

【本 選】

日時：令和元年6月13日（木） 9：30～16：50（予定）

会場：[長岡リリックホール](#) コンサートホール・第1スタジオ、他

〒940-2108 長岡市千秋3丁目1356番地6 TEL. (0258) 29-7711

（駐車場はホール周辺の駐車場をご利用できますが、楽屋口前は使わずハイブ長岡側をご利用ください。）

【予選審査】

アナウンス・朗読部門のみ、本選前に録音CDの提出による予選審査を行い、予選通過者が本選の出場資格者となります。

日時：令和元年6月2日（日）10：00～

会場：長岡商業高等学校（録音CD審査・非公開）

※審査結果と講評用紙を郵送返却します。（録音媒体は、本選時に返却いたします。）

結果が6月5日（水）までに届かない場合は、当番校にご連絡ください。

3 日程（予定）

840	920	930	950	1230	1330	1600	1630	1650	
受付 →	顧問 打合せ	開会式 (ホール)	朗読部門 (ホール)		昼食	アナウンス部門 (ホール)		審査講評 (ホール)	閉会式 (ホール)
			創作ラジオ ドラマ (第1ｽﾀｼﾞｵ)	ラジオ ドキュメント (第1ｽﾀｼﾞｵ)		創作テレビ ドラマ (第1ｽﾀｼﾞｵ)	テレビ ドキュメント (第1ｽﾀｼﾞｵ)		

↑朗読課題配布

↑アナウンス課題配布

- (1) 参加者は、必ず9：30までに受付を済ませてください。
- (2) 参加人数により当日の日程を変更することがあります。ご了承ください。
- (3) 開会式前に、参加顧問で出場状況や係作業確認のための打ち合わせを行います。

4 申し込み

(1) 参加申込書

県高文連HPの放送専門部リンク <http://www.kobunren.jp/housou/> から、

Excelのワークシートによる申し込み様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、

ファイルをE-mailに添付して送ってください。（開封確認の送信を推奨）

(2) 参加申込締切日・申込先

全部門一括 令和元年5月27日（月）当番校（長岡商業高校）E-mail必着

【参加申込の提出・問合せ先当番校】

〒940-0817 長岡市西片貝町大字大木1726

県立長岡商業高等学校 加藤 晶

E-mail: kato.akira@nein.ed.jp

Tel:(0258)35-1502 Fax:(0258)39-1736

(3) 原本の提出

ファイルを印刷し、学校長印を押印した参加申込書を、以下のいずれかの方法で提出してください。

- ① アナウンス・朗読原稿等送付時に同梱する。
- ② 大会当日に受付にて直接提出する。

(4) 題名の変更

番組申込み後の題名変更は、6月3日（月）まで可能です。変更の場合は長岡商業・加藤先生にE-mailにて連絡してください。

「仮題」で申し込んでいただいても構いませんが、必ず6月3日（月）迄に当番校にお知らせください。

これ以降の変更は、規定違反と見なし失格となる場合があります。

5 提出していただくもの

●アナウンス・朗読部門

- (1) 原稿 7部……出場者1名につき7部必要。規定のA4袋綴じ(仕上がりA5製本)で作成。
- (2) 予選審査録音媒体…CD-Rで、部門ごとに1枚を使用。
- (3) 予選結果・講評返信用封筒……返送する講評用紙の量も多いので「レターパック」でお願いします。

返送先を御記入の上同梱してください。

- (4) 提出期限・提出先

上記(1)(2)(3)は、5月30日(木)当番校(長岡商業高校)必着

【提出先・問合せ先当番校】

〒940-0817 長岡市西片貝町大字大木1726

県立長岡商業高等学校 加藤 晶

E-mail: kato.akira@nein.ed.jp

Tel:(0258)35-1502 Fax:(0258)39-1736

●ドキュメント・創作ドラマ部門

- (1) 進行表・CUEシート等 2部………様式2-1~2-5をA4プリントで左上綴じにする。
- (2) 作品媒体 2枚…ラジオ部門はCD-R。テレビ部門はDVD-R。

- (3) 提出期限・方法

上記(1)(2)の提出は、

大会当日9:30迄に受付に提出。万一再生できなかつた場合は失格。

編集をしたパソコンのみでなく、一般的なプレーヤーでの再生を確認してください。

6 参加費

- (1) 金額

①アナウンス・朗読部門	1名につき	1,000円
②ドキュメント・創作ドラマ部門	1作品につき	2,000円

- (2) 納入方法

以下の「ゆうちょ銀行」の口座に、5月30日(木)までに振り込んでください

参加料送金先 ※振込手数料は、参加校でご負担をお願いいたします。

【銀行名】ゆうちょ銀行 【店名】一ニ八(イチニハチ) 【店番】128

【預金種目】普通預金 【口座番号】2923593

(郵便振替の場合 記号:11220 番号:29235931)

【口座名義】高文連放送専門部(コウブンレンハウソウセンモンブ)

- (3) 参加費は、5月27日(月)の期日までに、申し込みをされた人数・作品数で確定します。

出場辞退や棄権及び予選不通過の場合でも返金はできません。ご了承ください。

7 参加・応募規定

全ての部門の各種様式は、必ず最新の第66回大会のものを使用してください。古いものは使わないでください。減点となります。

各種の様式は、NHKの放送コンテストWEBサイトから、最新版をダウンロードして使用してください。

http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/（放送教育ネットワーク）

●アナウンス部門・朗読部門の予選審査録音媒体について

①CD-R（CD-DA形式）で作成し、1人1ファイルで録音します。

（必ず、パソコン以外の一般の民生機器のCDラジカセ等で再生確認をしてください。）

②CDレーベル面には「部門と学校名」を記入してください。

③CDケースには「部門と学校名」の他に、「発表者名の録音順」も記入してください。

④録音順については、参加申込書に記載された順番でお願いします。

●アナウンス部門

（1）自校の校内放送に使用する内容とします。原稿も審査対象になるので、必ず参加者本人の自作原稿としてください。

（2）エントリー番号（本選時）、氏名を含め「1分10秒以上1分30秒以内」でアナウンスします。（学校名は読みません）タイムの過不足は、減点または失格となります。

（3）予選の録音については便宜上、エントリー番号の代わりに、各校での録音順番号で読んでください。

（4）申込用紙の順番と録音の順番を同じにしてください。

（5）1校あたりの参加人数は、制限を設けません。

（6）本選では、当日提示の課題原稿を加えます。（昼休み時に配布予定）

（7）予選通過は40人程度です。

●朗読部門

（1）指定5作品の中から1つを選び、朗読したい部分を朗読します。

（2）エントリー番号（本選時）、氏名、著者名、作品名を含めて、「1分30秒以上2分以内」で朗読します。

（学校名、訳者名は読みません）タイムの過不足は、減点または失格となります。

（3）予選の録音については便宜上、エントリー番号の代わりに、各校での録音順番号で読んでください。

（4）申込用紙の順番と録音の順番を同じにしてください。

（5）原作文の脚色・変更は認めず、原文どおりに抽出し、文頭から開始し、文末で終了します。

本文中の（ ）内も読みます。なお、読み仮名・訳者注は読みません。

（6）1校あたりの参加人数は、制限を設けません。

（7）本選では、当日提示の課題原稿を加えます。（受付時に配布予定）

（8）予選審査録音媒体・原稿様式は、アナウンス部門と同様ですが、原稿表紙には、抽出部分の開始ページ数の記入を忘れないでください。

（9）予選通過は40人程度です。

(10) 朗読指定作品は、次の5作品です。

第66回全国高校放送コンテスト朗読部門 指定作品(平成30年7月公開)

- ①『芙蓉の人』新田 次郎 著(文春文庫)
- ②『食べごしらえ おままごと』石牟礼道子 著(中公文庫)
- ③『羊と鋼の森』宮下 奈都 著(文春文庫)
- ④『デーミアン』ハッセ 著/酒寄 進一 訳(光文社古典新訳文庫)
- ⑤『方丈記』鴨長明

注意: 電子書籍不可。

- ①は2014年新装版以降のものに限る。
- ②は収録作品のいずれを選んでも良い。短編集のタイトルを必ず読むこと。
- ④は他の出版社・翻訳者のものは不可。⑤は現代語訳不可、出版社は問わない。

●番組部門

(1) 部門は、ドキュメント(ラジオ・テレビ)・創作ドラマ(ラジオ・テレビ)の4部門です。

(2) テーマは、高校生としての視点を大切に、各技法を生かした独創的な作品とします。

(3) 出品数は各部門とも、「1校2作品まで」可能です。

(4) 各部門の制作技法は以下のとおりです。

部門	制作時間	提出録音媒体および画面構成
ラジオドキュメント	6分30秒～7分	CD-R(CD-DA形式)
テレビドキュメント	7分30秒～8分	DVD-R(VIDEO形式) …アスペクト比は16:9 メニューは付けないこと。
創作ラジオドラマ	8分以内	CD-R(CD-DA形式)
創作テレビドラマ	8分以内	DVD-R(VIDEO形式) …アスペクト比は16:9 メニューは付けないこと。

※タイムの過不足は、減点または失格となります。

(5) 注意事項

◇ラジオ部門については、以下にもご注意ください。

- ①作品の最後に「制作は〇〇高等学校放送部(局・委員会等)でした」というクレジットコールを吹き込む。
- ②クレジットコールには、他の音声をかぶせないこと。

◇テレビ部門については、以下にもご注意ください。

- ①作品の最後に制作した学校名のクレジット(文字)を挿入する。
 - ②作品の前後には、規定のテストパターンを各5秒ずつ挿入する。
 - ③メニュー画面は作成しない。
 - ④ファイナライズを、忘れずしておく。
- (6) 様式規定に従った「番組進行表」を2部作成してください。
- (7) 作品媒体は、審査用とバックアップ用に2枚作成してください。
- (8) 盤面とケースには「部門名・学校名・作品名」を記載してください。
- (9) 制作パソコンだけではなく、一般の民生機器でも再生可能か試聴確認してください。
- (10) 著作権に関わる処理は「校内放送研究」の冊子を参考にして必ず各校においてJASRAC（日本音楽著作権協会）等の著作権管理団体との手続きを行ってください。
- (11) 当日、参加代表者は作品発表の前に、制作意図を述べていただきます。
- (12) 全国大会に推薦された場合でも、著作権に関わる作品の手直しは認められませんのでご注意ください。

8 発表順（エントリー番号）の決定

令和元年6月2日（日）予選審査会場で、厳正に抽選を行いますので御一任ください。

9 表彰

(1) 表彰順位と全国大会の推薦枠

- | | | | | |
|-----------|----|---|----|------------|
| ・アナウンス部門 | 1位 | ～ | 6位 | (全国大会推薦6名) |
| ・朗読部門 | 1位 | ～ | 6位 | (// 6名) |
| ・ドキュメント部門 | 1位 | ～ | 4位 | (// 4作品) |
| ・創作ドラマ部門 | 1位 | ～ | 3位 | (// 2作品) |

(2) 審査員の意向により「奨励賞」が授与されることもあります。

(3) 県大会の結果に基づき、全国大会への出場者および参加作品を推薦します。

10 全国大会出場者特別講習会

アナウンス部門・朗読部門の入賞者は、以下の日程の特別講習会に参加することができます。

①6月22日（土） 午前または午後（或いは終日）

新潟市「NHK新潟放送局」にて NHKアナウンサーによる講習

②7月7日（日） 終日

長岡市「中越高等学校」にて NHK杯・全国総文祭出場者合同講習会

以上

(H.31/4/24役員会・顧問会議審議後・確定版)